

- ◇新しい議長・副議長を選出……………2面
- ◇原爆展など平和事業を開催……………2面
- ◇年金特集……………3面
- ◇後期高齢者医療制度の保険料額が決定……………4面
- ◇市立小学校のプール開放の日程を紹介……………5面
- ◇夏のイベントカレンダー……………8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集/総合企画局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



西宮版事業仕分け

「ザ・チェック!西宮」

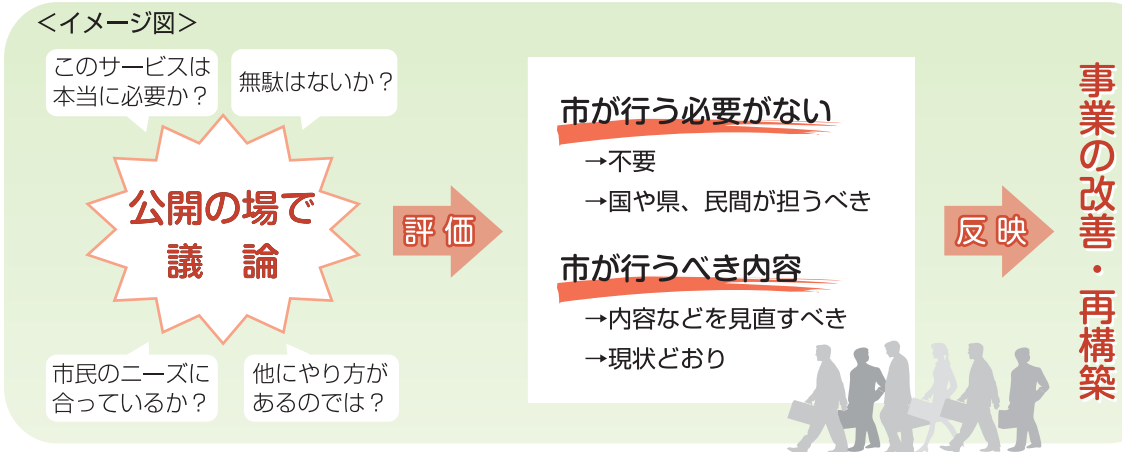
8月6日(土)・7日(日) 市役所東館8階

市は、8月6日(土)・7日(日)に市役所東館8階の2会場で、西宮版事業仕分け「ザ・チェック!西宮」を実施します。問合せは事業改善グループ(0798・35・3478)へ。詳しくは市のホームページ(市政情報→行政経営改革)にも掲載します。

公開の場で事業を評価

効率的な市政運営を

「ザ・チェック!西宮」は、本市が実施している事業の現状や課題を市民の皆さんと共有するとともに、公募市民や有識者で構成された評価員の目線で評価することで、事業を再構築し、効果的かつ効率的な市政運営を図ることを目的としています。事業廃止や経費削減など財源



市長からのメッセージ

市民の皆さんの価値観が多様化していく中、さまざまな声に応えて、将来にわたって

事業見直しのきっかけに

質の高い行政サービスを提供していくためには、効率的、効果的に事業を運営する必要があります。西宮版事業仕分け「ザ・チェック!西宮」では、これまで実施してきた事業について、市民や有識者の視点から意見をいただき、見直しや改善につながる議論が行われることを期待しています。また、公開の場で評価を受けることで市職員のさらなる意識改革につなげていきたいと思っております。当日は、傍聴することができますので、市民の皆さんの多くの来場をお待ちしています。また、インターネットによる配信も行いますので、ぜひご覧ください。今後も市民の皆さんと手を携えながら、透明性の高い市政運営に努めてまいりますので、皆さんのご協力をお願いします。

あなたも一緒にチェックしませんか? インターネット中継も実施します

「ザ・チェック!西宮」の事業別のタイムスケジュールや会場は下表のとおりです。誰でも会場で傍聴することができますが、多数の場合は入場を制限することがありますのでご了承ください。また、第2会場(市役所東館8階801・802会議室)の様子を市のホームページ(市政情報→行政経営改革)からインターネット配信する予定です。皆さんも一緒に市の事業をチェックしませんか。

●事業別スケジュール

日程	第1会場 (市役所東館8階大ホール)	第2会場 (市役所東館8階801・802会議室)
8月6日(土)	10:00~10:30 開会式	
	10:30~11:45 防災啓発事業 ~震災経験都市として市民を守る役割とは	地球ウォッチングクラブ事業 ~環境学習都市として全国の先駆けとなった環境教育とは
	13:00~14:15 市民交流センター管理運営事業 ~市民団体支援の活動拠点としての役割とは	道路管理事務 ~道路情報を配信するシステムとは
	14:30~15:45 高齢者交通助成事業 ~高齢者のこれからを支えていく足とは	基礎学力向上事業 ~西宮らしさを展開する学校教育とは
8月7日(日)	10:30~11:45 文化芸術振興事業 ~市民参加型の芸術文化の振興とは	職員研修事務 ~満足度の高い市民サービスを提供する職員の育成とは
	13:00~14:15 観光推進事業 ~魅力あふれるまち西宮とは	都市景観関係事務 ~豊かな西宮の景観形成とは
	14:30~15:45 子育て総合センター管理運営事業 ~子育て世代への発信基地としての役割とは	農業体験推進事業 ~農業を学ぶ場の提供とは
	16:00~16:30 閉会式	

検出を直接目的とした結論ありきの議論をするのではなく、市が実施している事業について、「そもそも行政サービスとして必要か」、「国や県、民間などが

実施する方が効率的でないか」、「内容などを見直すべきでないか」などの視点から、事業のあり方について議論し、見直しや改善につなげます。対象事業は、①市の重点施策である、②市民の期待度と満足度の差が大きい、③事業開始から10年以上経過しているなど、さまざま側面から検討を重ねて選定した12事業です。左表参照。評価された結果については、市のホームページ(市政情報→行政経営改革)で公表し、来年度以降の事業のあり方について十分に検討していきます。